

FGC(ファミリー グループ カンファレンス)
基本理解と日本での可能性について
報告書

FGC 報告会 おおた 実行委員会

2015 年 12 月 1 日

<実施概要>

FGC 報告会 おおた 実行委員会は、2015 年夏の盛りに東京都内で行われた FGC 研修 inTokyo - 支配と強制のない社会へ - (主催：特定非営利活動法人 自律支援センターさぽーと) に参加した大田区内参加者の有志により、結成された。研修会での学びを区内関係者に報告し、意思決定の枠組みやプロセスに新しい視点の気づきを共有するために、報告会を開催した。

日時：2015 年 10 月 24 日 (土) 18:00~20:30

会場：大田区消費者生活センター第 6 集会室

主催：FGC 報告会 おおた 実行委員会 共催：特活！風雷社中

構成：概要報告 (別添資料)

当事者・家族・支援者の立場での座談会

アドバイザー：池原毅和 弁護士

実績：動員 25 人 障害当事者、事業者、支援者、家族、ライター、区議会議員など

<動機&感想>

今夏の学習会及びその内容を大田の関係者に周知をし、FGC のみならず、意思決定そのものに対する見識を地域レベルで高めるために開催した。

FGC を学んだことを報告会という機会を通して、反芻する機会は刺激的だった。

FGC そのものについて、更に知識を深められたのみならず、成年後見制度が存続していく現状の中でもその制度との折り合いをつける手段を見つけられるのではないかと感じた。

地域の障害当事者や市民活動の担い手や他の参加者からの感想がとても好評であり、開催したことの意義を感じた。

<会場風景>



<今後に向けて>

FGC ファミリー・グループカンファレンスに僕らが期待していることは、障害を理由に地域コミュニティ（地縁などの狭義なものではなく）へ参加する機会を奪われている当事者が家族と専門家だけの人間関係の中で様々なことを決めて、行動していかななくてはならない状況を打開できるのではないかってことだろう。

そして、その Action は当事者がより多様な関係性の中で意思決定をしていくだけでなく、そのプロセスに関わった周囲の人たちが、障害のある人たちとの共生を経験して、そのコミュニティそのものがエンパワメントされることを同時に期待している。

今後への具体的な取り組みは、現在、池原先生と風雷社中の中で鋭意検討中ではあるが、次年度に具体的な FGC 開催を計画したいと考えている。

小さな最初の一歩に向かっていきたいと思います。

今回、ボランティアな立場で、風雷社中と一緒にこの未知の取組に関わってくれた実行委員のみなさんに感謝をそえて。

FGC 報告会 おおた 実行委員
特活！風雷社中 代表 中村和利

(主催)

FGC 報告会 おおた 実行委員会



(共催)

NPO 法人風雷社中
〒144-0052 東京都大田区東矢口3丁目31-8
電話：03-6715-9324

◎ FGC 報告会 おおた 実行委員会